



令和3年5月21日

## スマートポンプの運用を開始します

東京消防庁はこの度、「スマートシティ」の実現に向けた取組として、電動モータ駆動で放水可能な、消防ポンプ補助装置「スマートポンプ機能」を装備した水槽付きポンプ自動車を、玉川消防署、石神井消防署、東村山消防署に配置しました。スマートポンプ機能は、リチウムイオンバッテリーによる電動モータ駆動で放水を可能にしたことにより、CO<sub>2</sub>排出量を削減し環境対策に寄与するとともに、電動モータの静音性により駆動音を抑制することが可能となっています。

なお、放水する場合は、放水量に応じてエンジン駆動と電動モータ駆動が切り替わる仕様となっています。

### 1 スマートポンプの概要

別紙1参照

### 2 車両の取材について

令和3年5月27日の石神井消防署での運用開始に合わせ、車両を撮影していただくことができます。

(1) 日時

令和3年5月26日（水）14時00分から

(2) 場所

石神井消防署

練馬区下石神井5-16-8（別紙2参照）

### 3 その他

(1) 取材を希望される方は、令和3年5月25日（火）12時まで、広報課報道係へご連絡ください。 集合場所、時間については、申し込みの際にお伝えします。

(2) 取材の際は、自社腕章を着用してください。

(3) 駐車場はありませんのでご了承ください。

(4) 新型コロナウイルス感染症予防対策として、マスクの着用、テレビは1社3名以内、それ以外の社は1社1名とさせていただきます。ただし、テレビ以外の社のうち、スチールに加えムービーの撮影を希望する社は、2名まで取材可能となります。

問合せ先

（ 東京消防庁（代） 電話 3212-2111  
 広報課報道係 内線 2345~2349 ）

## スマートポンプの概要

この車両は、水槽付ポンプ車に電動モータ駆動で放水可能な消防ポンプ補助装置を装備することで、静音性及び環境に配慮した車両です。

- 消防ポンプ補助装置は、エンジンを停止した状態でモータによりポンプを駆動させポンプ圧力0.3MPaで毎分約300L放水可能とし、連続で約一時間稼働できます。ポンプ操作盤に設けられている液晶パネルと電子スロットルで操作します。
- ポンプ回転数が上昇すると自動的にエンジン駆動に移行します。なお、エンジン駆動時はリチウムイオンバッテリーに回生充電されます。
- 消防ポンプ補助装置のリチウムイオンバッテリーは、AC100V電源で充電でき、満充電で約5,600Whの容量があります。



車両外観



消防ポンプ補助装置用  
リチウムイオンバッテリー



消防ポンプ補助装置操作パネル

車両の主要諸元

シャシ関係	全長	約6.58m
	全幅	約2.31m
	全高	約2.76m
	ホイールベース	3.26m
	最小回転半径	5.3m
	車両総重量	約10,825kg
	乗車定員	7名
エンジン関係	種類	水冷直列4気筒ディーゼル
	総排気量	5.193L
	最高出力	154kW-2,400r/min
	最大トルク	706N・m-1,600r/min
	トランスミッション	電子制御式自動6段変速機（手動モード付）

案内図

